

事業所名：地域密着型特別養護老人ホーム なつぼ

運営推進会議開催報告書 ①

開催日時 令和 7 年 6 月 17 日(火) 14:00 ~15:00

参加者

家族：2名 地域包括支援センター： 1名 事業所： 4名

議題 内容

参加者自己紹介、施設長挨拶

1 ①R6年事業報告、R7年事業計画について

施設長より別紙「令和6年度 社会福祉法人すぎの芽会事業報告」「令和7年度 社会福祉法人すぎの芽会事業計画」にて報告。

意見交換等

- ・民間が入ってきているとの話もあるが、どのような状況なのか？金銭的に高いのか？
→ 社会福祉法人では行わないようなサービスも要望に応じて取り組む姿勢が強いと思う。
通所系サービスではサービス内容が良い所も多いように思う。
入所系では特養や老健などの方が入居費用が抑えられている。
- ・地域生活という面ではどうなのか？
→ 社会的入院等が対策されてきたが、地域で暮らす支援を行っていく方向であろう。
- ・金銭取り扱い業務での再発防止策の徹底とは？
→ 紛失があった。その防止という事です。
- ・離職率の低下はあるが、退職理由等の精査はされているのでしょうか？
それに沿って対策をした方が良いのではないでしょうか？
→ 管理職にては退職理由も6割程度は把握している。対策していきたい。
- ・安全衛生、メンタルヘルスとあるがストレスの管理、発散等はどうになっているか？
→ ストレスを持たない人はいない。自分でストレスに対処していくように働きかけていくようにしている。
- ・包括支援センターでの事業計画についてはどうか？
→市の事業計画から作成をしている。
- ・事業計画について具体的に目標、内容やスケジュール等は決まっているのか？
あれもこれもは出来ないであろう。具体的に進めていくのが良いのではないか。
→施設の事業計画も作成することになる。そのように進めていければと考える。

②皆様からのご要望、ご意見、お知らせしたい情報等

- ・奈坪ヶ丘福祉会様で、マルシェを開催する予定と伺っている。
地域向けの活動が増えている様子が見える。なつぼ・あじさいとしても協力していきたい。
包括奈坪様 → 知ってもらうことがまずは必要、来てもらう意図でやっている。
規模が大きくなると場所、人員等の課題が出てくる。